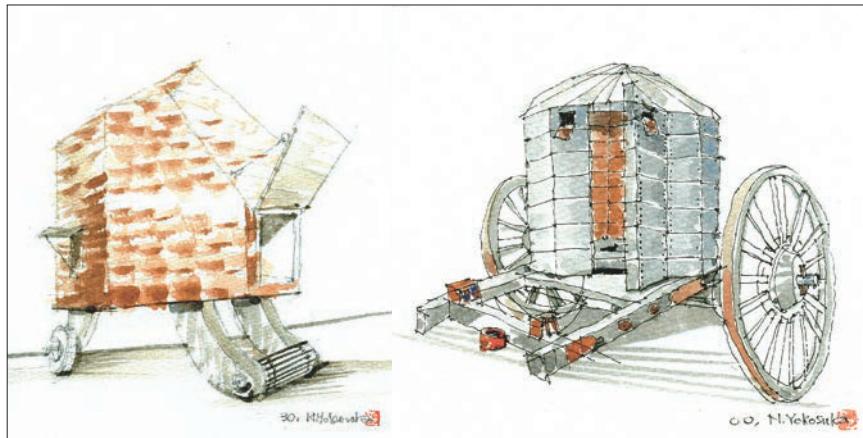


(2018-19年度 国際ロータリー・テーマ)



インスピレーションになろう



「新旧安神車」(水戸市)

急性灰白髄炎について

ロータリー財団委員長 高尾 哲也 (精神科医)

「急性灰白髄炎」という病気をご存知だらうか。

感染者の90%は症状が出ないが、約5%では、発熱、頭痛、咽頭痛、恶心、嘔吐などの感冒様症状が、さらに1~2%では無菌性髄膜炎が加わる。もっとも重症化する1~2%では、四肢の非対称性の弛緩性麻痺が出現する。嚥下、発語、呼吸が障害されることもあり、永続的な後遺症を残す可能性もある。重症化した場合の死亡率は、小児では2~5%であるが、成人では15~30%と高くなり、特に妊婦では重症になる傾向がある。球麻痺を合併した場合の死亡率は、25~75%と高率である。そして、この恐ろしい病気の治療法は…ない。呼吸障害などがあれば、気管切開や挿管で人工呼吸などを行うのみである。

この病原体はヒトにのみ感染するある種の腸内ウイルスである。経口的に体内に入り、咽頭や小腸の粘膜で増殖し、リンパ節を介して血流中に入る。その後、脊髄を中心とする中枢神経系へ到達。脊髄前角細胞や脳幹の運動神経ニューロンに感染し、これらを破壊することによって典型的な症状を生ずる。糞便内に増殖したウイルスは数週間にわたって排泄され続け、新たな感染源となる。感染者の90%以上が軽症であることも感染を拡大させる要因だ。

この恐ろしい病気、治療法はないが安心して欲しい。人類は克服手段を発見済みだ。それが「生ワクチンの一斉接種」である。ワク

チンという肩に注射するイメージだが、このワクチンは経口接種するもので、特別な医療技術は不要ない。感染地域で特定の日に一斉にワクチンを経口服するなどして徹底的な対策を行っている。一斉に実施しないと公衆衛生学的な効果が薄まってしまう。家畜や野生動物などには感染せず、ヒトにのみ感染するウイルスだからこそできる撲滅作戦である。我が国においても約50年前に北海道で大流行し、同様の施策で撲滅させた。50年以上世界中でこの撲滅作戦が続けられ、我々人類の勝利は目前までている。2018年現在、アフガニスタンとパキスタンでの合計19症例のみの発症に押さえ込んでいる（ちなみに過去3年間では、74例、37例、22例であった）。

もうお判りかと思うが、これはポリオの話である。ロータリー財団の寄付金の大半（90%以上）がポリオや貧困、教育などに直接使われている。生ワクチンは1回60円。単純計算であるが、みなさんから100ドル分のご寄付で、そこにビルゲイツ財団の寄付金上乗せが加わり、約560人の貧困地域の乳幼児に接種することができる。水戸RCの会員113名全員では、なんと63,280人分だ。水戸市の年間出生数が約2400人ほどなので、相当数・相当エリアの乳幼児にポリオワクチンを当クラブだけでも提供できる計算だ。

10月24日は世界ポリオデー。そして11月はロータリー財団月間。

No. 16 2018・10・26

1951年3月6日設立
1951年3月15日RI認証

■事務所

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mito-rc.jp/>

水戸ロータリークラブ

■会長 牧 厚志 ■幹事 二川 泰久

■例会日
毎週火曜日・12時30分
常陽銀行本店8階

【卓 話】 組織のチーム力を高める～セルフリーダーシップ～

阿井英二郎 氏



生まれは東京の府中ですが父親の仕事がJRAの関係の仕事でしたので中学時代は茨城県の美浦村で過ごしました。中学時代に野球をしていたので美浦村出身と言われていただいている。その後、高校を卒業してヤクルトスワローズに入団しました。

同期には荒木大輔君がいます。そのころのヤクルトは弱かったです。ですが野村監督に代わってから組織力を生かして少し強くなりました。そのころは野球のうまい人がたくさん集まつたら強いチームになるという時代でした。しかし、現在は昨日のドラフトを見ていただいてもわかるようにどの球団の指名を受けても入団していきます。以前の高校生と現在の高校生では成長の度合いが違います。肉体的にも考え方・思考も30年前と比べるとだいぶ成長の度合いが変わってきています。そのような若い人たちを教育するという観点で本日の「セルフリーダーシップ」の考え方方は必要だと考えています。

日本人は自分が犠牲になっても社員や身内を守ろうとするのが美德でした。貢献することが良いという考えでした。しかし、今は自分が幸せでなければ他の人を幸せにできないという考え方になっています。今の若い社員はそのような考え方になっています。そこで必要になってくるのが「セルフリーダーシップ」です。他者を気にする自分をどのようにコントロールするかが大切だと思います。そのことを社員に指導することが必要です。自分のことを自分がどのように認識するかが必要になる。そこで下記のことを教えていきます。

1. 自己認識力

自分の強みや価値観を大切に行動することを認識する。認識させることが必要。

2. 意思決定力

自分のキャリアを自分で選んできた感覚を持つこと。やらされているのではなく自分の意思で行動していることを認識する。

3. 働きかけの力

周りの人々に助けられてきたと感謝している。

状況に合わせ必要な人間関係を構築し、上手にコミュニケーションできるスキル。

このことを認識することによって人は変わっています。そのような人をコーディネートするのが皆さんのようなリーダーでなくてはならないと思います。そこで必要なのが企業理念です。理念をしっかりと教えることによって人は動きます。明確な目標（理念）があることが大切です。さらに皆さんに持っているプライドを捨てましょう。誇りはきちんと持っていてください。プライドを捨てることによって社員や他者が良く見えてくると思います。そして自主的な行動をよく見て観察してあげてください。口出しせずよく見てあげてほしいと思います。そして褒めてあげてほしいと思います。これが自分の他者の育成になると思います。さらにそこで重要だと考えているのが「ほうれんそう」です。「報告」「連絡」「相談」を上司から必ずすることが重要だと考えています。そうすることによって下の者からも「ほうれんそう」が来るようになるものと思います。本日はありがとうございました。

~~~~~講師プロフィール~~~~~

阿井英二郎氏は、1964年9月29日のお生まれで、茨城県稲敷郡美浦村のご出身です。東京農業大学第二高等学校時代の1982年の夏の甲子園に4番エースとして出場、同年ドラフト会議にてヤクルトスワローズに入団、現役時代は中継ぎ、抑えとして10年間活躍し、1992年に現役を引退されました。

引退後は、医療機器メーカーに勤務しながら日本大学文理学部史学専攻通信教育を受け、教員免許を取得されました。つくば秀英高等学校、川越東高等学校にて地理歴史教諭及び野球部監督を経て、2012年11月北海道日本ハムファイターズの一軍ヘッドコーチに就任されました。在任期間中は、主に若手から中堅選手の自己成長するための土壌作りに尽力され、2014年2015年にはチームを連続でクライマックスシリーズ出場に導かれました。2015年10月に退団し、現在は筑波大学大学院人間総合科学研究科にて学びながら、企業の社員の意識改革に向けた教育に携われておられます。

例会報告

10月第4例会

ホストクラブ 水戸南RC

◇ ゲスト紹介

元北海道日本ハムファイターズヘッドコーチ
人材育成アドバイザー 阿井英二郎 氏

◇ ホストクラブ会長挨拶

水戸南RC 鈴木 憲一 会長



本日は水戸市内6RC合同例会に多くの皆様にお集まり頂き開催できましたこと誠にありがとうございます。メークアップ等で他のクラブに参加されている方以外はなかなか他のクラブの人たちと交流する機会がありませんので、このような機会を通じて懇親を深めることは大変意義のあることと思っています。茨城県内でも一つの市に複数のクラブがあるのは水戸市と土浦市とつくば市ぐらいだと思いますのでこの機会を有意義に使っていただきたいと思います。本日は講師に元北海道日本ハムファイターズヘッドコーチの阿井 英二郎氏をお迎えして「組織のチーム力を高める～セルフリーダーシップ～」と題しましてリーダーシップ論をお話しいただきます。皆様も人を育てるということにおいてご苦労されていると思いますので本日の講演を聞いて今後に繋げていただければと思っています。本日は合同例会にご参加頂き誠にありがとうございます。

◇ 出席報告

八文字委員長

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
111名	44名	67名	43.14%

前週訂正出席率 76.19%

前々週訂正出席率 83.18%

水戸西RC……32名 水戸南RC……58名

水戸東RC……23名 水戸さくらRC……13名

水戸好文RC……10名 合計 180名

◇ 会員メークアップ

10/7 北海道2500REC 藤本 淳
10/7・8 第39回ライラセミナー 但野 友久、和田徹太郎
10/8 ドイツ・カールスルーエ シュロースRC 井上 壽博
10/10 ワールド大阪REC 櫻場 誠二
10/10 水城高校IAC 齊藤 佳昭
10/16 前橋RC創立65周年記念式典 井上 壽博、二川 泰久、砂押 憲正、衣笠 勤
10/19 第3分区チャリティ親睦ゴルフ大会 豊崎 繁、小林大次郎、清水 洋一
10/20 地区ディスカッションリーダー養成講座 井上 壽博、長野 久嗣、横須賀良一、川名 信博、田中 邦彦、成田 浩明
10/20 地区青少年交換委員会 但野 友久
10/20 東京米山REC 2750 石井 隆志

◇ 幹事報告

二川幹事

1. 2018~2019年度指名委員会が開催されます。関係会員のご出席をお願いいたします。
とき 10月30日(火) 13:45~14:15
ところ 例会場 ロビー
議題 1. 次々年度会長選任について
2. その他
2. 青少年長期交換学生に申請しておりました二川桐子さん、青少年短期交換学生に申請をしておりました水城高等学校IACの永井花恋さんと岡田新平さんが合格いたしました。
3. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、内閣府賞勲局より、公益のために私財を寄付し功績顕著なる方々へ授与される「紺綏褒章」の公益団体認定を受けました。本年9月12日以降、個人では500万円以上、法人・団体等は1,000万円以上をご寄付され、定められた条件を満たした場合に紺綏褒章授与申請の対象となります。ご寄付を複数回に分けて分納される場合はあらかじめお申し出頂いた場

合のみ対象となります。詳しくは米山記念奨学会事務局までお問い合わせください。

～～ハイライトよねやま～Vol. 223～～

1) 台湾米山学友会から災害義援金が届きました

9月上旬、日本列島は台風21号と北海道胆振東部地震に相次いで見舞われ、各被災地のインフラは大きな打撃を受けました。台湾米山学友会では9月8日の役員会にて、全会一致で募金活動を決定。約3週間で28万6,500元（約105万円）を集めました。この義援金は、当会を経由して、第2660地区と第2510地区に送られる予定です。同学友会の吳憲璋理事長は「今回の台風と地震による被害に我々は皆、大変驚き、直ちに募金を開始しました。台湾米山会一同、一日も早い被災地の再建と復興を心より祈っております」とのメッセージを寄せてくれました。

2) よねやま親善大使の紹介DVDが完成

今年7月に任命された第3代よねやま親善大使の紹介動画と、それを収録したDVDが完成しました。動画は、当会ホームページの『米山奨学会紹介ビデオ』のページから視聴できます。また、DVDをご希望の方には無料でお送りします。すでにさまざまな地区的米山記念奨学セミナーなどに、よねやま親善大使をスピーカーとしてお招きいただき、ご好評を得ています。

よねやま親善大使の招へいをご希望の際は、米山記念奨学会事務局・広報担当までご連絡ください。

水戸市内6RC合同例会 懇親会



乾杯 長谷川パストガバナー



懇親会風景



ロータリーソング「手に手つないで」



週報担当 和田幾久郎 委員

例会予告

11月6日(火)

—イニシエーションスピーチ—

卓話「私と弓道とお札の話」

吉田 豊 会員

11月13日(火)

—イニシエーションスピーチ—

卓話「鉄道の現状と未来

(JR東日本の事例をもとに)

雨宮 慎吾 会員

11月20日(火) 18:30

於 三の丸ホテル

卓話「クラシックの夕べ」

ヴァイオリニン 川合 祐子 氏

ピアノ 遠藤 桃子 氏

…… 例会欠席の方は、4日前までに事務局までご連絡下さい。……